

Hygeia Annual Meeting 2010

座談会アンケートまとめ

2010年 11月30日(土)
全国町村会館(東京 永田町)

2010年11月 徳本美佐子

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

座談会出席者アンケート

日時 : 2010年10月30日 (土)

場所 : 全国町村会館 (東京 永田町)

参加者 : 歯科衛生士 14名
徳本美佐子 (ハイジア)

座談会アンケート概要

1. 歯科衛生士歴・MTM歴・担当患者数（参加衛生士9名）

歯科衛生士歴		MTM実施歴		担当患者数	
1年未満		なし	1名	0- 50	1名
1-2年	2名	1年未満	1名	51-100	2名
3-5年	7名	1-2年	4名	101-200	—
6-10年	2名	3-5年	4名	201-500	5名
11-15年	2名	6-10年	2名	500以上	2名
16-20年	1名				
21年以上	—				

座談会アンケート概要

2. MTMに則った診療のシステム化はできていますか。

出来ている	11名
出来ていない	1名
その他	2名

3. MTM実施率はどの程度ですか。

ほぼ全員	8名
半分程度	4名
1~2割程度	1名
実施していない	—

座談会アンケート概要

4. MTMが出来ない理由はなんですか。（複数回答あり）

院長のやる気	—
スタッフのやる気	1名
スタッフの知識や技術	3名
スタッフ間の温度差	7名
チェア一台数不足	2名
スタッフの数	1名
医院の拡張が出来ない	3名
新人教育	4名
MTMの必要性が患者に伝わらない	4名
設備不備（媒体・データ入力ソフト・超音波スケーラー等）	4名
その他	3名

Hygeiaへの希望

- ・ 振り返り、気づき、考えるきっかけを第三者の立場から頂きたい。
- ・ 今回の座談会はとても有意義でした。これは継続してもらいたいと思います。（他院のこと、自院の確認に、同じ問題を共有している、それに対するアドバイスなど）
- ・ 土曜日に行ったディスカッション形式は大変良かったです。今後も継続して行って欲しいです。
- ・ 患者説明の良い方法のセミナーを是非。
- ・ スタッフ間のMTMの価値や重要性の理解を共有できるようなセミナーがあればいいです。
- ・ MTMの流れの中で、細かいところ（例：サリバの結果説明の仕方とか）まで共有できるセミナーがあったら参加したい。
- ・ セミナーにもっと参加していきたいと思います。色々な医院の現状、経緯等を知る事で、とてもいい刺激になり、成長できるように思いました。
- ・ 定例会の回数を増やす。
- ・ 患者さんからの様々な疑問を共有していけたらとても助かります。
- ・ 新人教育

Hygeiaへの希望

- ・ MTMのシステムが出来上がり実践しているが、当院で行っているMTMはこれで良いのか、日吉の最低ライン以上になっているのかチェックして欲しい。
- ・ DH本人が引っ越しなどで職場を変わらなければいけない時、やはりOP診療室がいいのでハローワーク的な部署を作って欲しい。

あなたの目標

- ・ 短期 MTMを正しく理解する。
規格性のあるデータ収集の技術を磨く。
(データを読むことも含めて)
知識、技術の習得。(カリオロジー、ペリオドントロジー)
- ・ 長期 専門的なこともわかりやすく伝えられる衛生士になる。
- ・ 短期 担当メンテナンス患者数 500人にする。
- ・ 長期 真のプロフェッショナルを目指す。
- ・ 短期 メインテナンス数アップ
- ・ 長期 長期でメンテナンスを診続けること。

あなたの目標

- ・ 短期 担当患者500名
患者セミナー一月15名以上参加させ、メンテナンスの重要性を伝える。
- 長期 徳本さんのようなカリスマ衛生士になること。
衛生士のためのセミナーを自らする。
- ・ 短期 日吉歯科の衛生士のような衛生士を目指す。
- 長期 スキルアップをし続けて、患者さんに提供できる衛生士を目指す。
- ・ 短期 スタッフ間の疑問をなくして、もっとMTM患者を増やすこと。
- 長期 データを他院への提示をし、自院だけでなく地域の医院とも予防を広めていきたい。

あなたの目標

- ・ 短期 力量の確認、向上。
自分の業務を見直し、まだ努力すべきところ、改善する必要を感じました。一つ一つを確実にやっていきたいと思います。
- 長期 中断者を出さない。
患者さんが、自分の口腔内に対する意識と理解を高める事の出来る説明、患者教育の出来る衛生士になる。
- ・ 短期 メインテナンス患者数300人。SRPの技術の習得。
- 長期 メインテナンス患者数500人
- ・ 短期 MTM患者を増やせるよう、知識をどんどん身につけていきたい。
- 長期 MTM患者の口腔環境を維持できる様、更に技術、知識を養っていき
たい。また、ただ知識や技術を身につけるのではなく、工夫も
していこうと思います。

あなたの目標

- ・ 短期 小児を増やす。新人教育を充実させる。治療計画を話せる。
全身疾患を理解する。
- 長期 一日のメンテナンス数を10名位にする。平井歯科のDH、Dr、スタッフは口腔内を守ってくれると地域の人々が思ってくれる。
平井歯科を、大阪では平井歯科だと熊谷先生に言ってもらえる様にする。
- ・ 短期 患者さんの歯を残し、健康に生活してもらおうという軸をブレないように、毎日意識し一つ一つのデータをきちんと取れるようにする。
- 長期 日吉歯科の衛生士さん以上の結果を出す。
(患者さんの口腔内の健康を守る。)

あなたの目標

- ・ 短期 再評価時のBOP10%以下。
SDT一回目までにPCR15%以下を達成する。

長期 メインテナンスへ移行した患者さんの喪失歯をなくす。
- ・ 短期 規格性のあるデータ集め。データ蓄積。

長期 担当してもらいたい、担当してもらって良かったと思われる衛生士。カリエスフリー90%以上。
- ・ 短期 データ入力をきちんとやる。

長期 20歳時、カリエスフリー者90%以上

どのような形でHygeiaや医院や社会に貢献できますか

- ・ 歯科衛生士業務を通じて、その方の健康を守るサポートと、食べる楽しみを持ち続けられるよう貢献していきたいです。
- ・ 今現在の患者さん方が寝たきりになったとしても、生活、食べる、話す、噛む、というあたりまえのことが出来る口腔内をつくり (QOL)、その結果が出せるようになりたい。
そして、歯の価値を上げればよいと思います。
- ・ 予防の大切さを多くの方に伝え、地域にメンテナンスを広めること。
- ・ MTMをしっかり行い、患者さんに歯科医療を提供し、医院の一人として常にスキルアップを目指して医院の評価につながるようにする。
全国でMTMを行う医院が広まるように、MTMを行う医院の一医院として、MTMの価値を伝えることが貢献につながると思っています。
- ・ まずはMTMを患者さんに広める。データを取っていく中で、スタッフはもちろん他院へもネットワークを通じて予防を広め、情報を発信していくようにする。
- ・ 貢献は何が出来るか正直わかりません。オーラルフィジシャンのDH、患者さんの事を深く理解できるDHになりたいです。

どのような形でHygeiaや医院や社会に貢献できますか

- ・ (ハイジア) 運営のお手伝い。
予防歯科を浸透させ、口腔内はもちろん全身の健康を管理する。
- ・ 知識、技術を身につけることで、医院だけではなく、社会に予防の重要性を患者さんに伝えていけるとおもいます。
- ・ 中断者さんをなくし、Krさんの真の利益を考え、健康を守っていききたい。自分のスキル、考えを向上させDHの仕事が素晴らしいと伝えていききたい。
- ・ MTMを経てメンテナンスをすることにより、地域の方には健康で幸せな生活を送って頂ける。社会には医療費の削減、医院には経営の安定として貢献できるのではと思います。
- ・ 一人でも多くの人に、自分の歯で生涯過ごす重要性を認識してもらい、それをまた、他の人にも伝えてもらえるように働きかける。
- ・ 日々の診療や、知人へMTMの重要性を話すこと。
- ・ MTMを実行しているなので、その結果を他院へ発信する。

Hygeia Annual Meeting 2010 アンケートまとめ

2010年 11月31日(日)
全国町村会館(東京 永田町)

2010年11月 徳本美佐子

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

Hygeia Annual Meeting 2010 会場風景



Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

Hygeia Annual Meeting 2010 会場風景



Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

Hygeia Annual Meeting 2010 参加者アンケート

日時 : 2010年10月31日 (日)

場所 : 全国町村会館 (東京 永田町)

参加者	: OP歯科医師	7名
	勤務医	1名
	歯科衛生士 (Hygeia会員)	23名
	歯科衛生士 (Hygeia会員以外)	13名
	その他	2名
	計	46名

< 医院の状況について >

1. MTMの実施状況

実施している（全員・ほぼ全員）	34名
実施している（一部の方を対象）	10名
実施していない	3名
その他	1名

< 医院の状況について >

2. MTMを導入・構築・運用するうえでの課題は。(複数回答可)

歯科衛生士のMTM理解と実施スキル	26名
歯科衛生士へのMTMスキル教育機会	20名
MTM歯科衛生士の確保・増員	10名
設備・資材の不足等(チェア一・説明用媒体等)	11名
MTM実施への動機づけ・やる気	13名
設備投資費用(チェア一増設・増改築等)	13名
患者への必要性説明・自費負担等への理解の求め方	19名
MTM実施による患者利益と医院収益性確保の両立	22名
その他	4名

<貴医院の状況について>

3. 歯科衛生士は担当制ですか。

はい	43名
いいえ	2名
その他	3名（移行中他）

4. 歯科衛生士はマイチェアを持っていますか。

はい	38名
いいえ	4名
その他	5名（一部・共用他）

齊藤直之先生の講演タイトルと抄録

1 結果の出せる診療室を目指して

-チームの総合力をあげるためのそれぞれの役割- 齊藤直之先生

これまで、私たちは「健康を守り育てる診療室づくり」をしてきました。これからもこの取り組みは続きます。しかし、わたしたちのミッションは、ただ診療室を構築しただけでは、果たせません。人々の口腔の健康、生涯の健康に寄与するという結果を出していかなければならないのです。とても大きなミッションです。どこまでも続くこの目標への取り組みをいかに継続し、前進を続けるか。とても大切です。しかし、とても難しいことだと思います。ブレずに自分たちのミッションを貫き通す。そのためには、何が必要なのか。楽しく取り組み続けるためにはどうすればいいのか。私たちの診療室では、様々なことをこれまで行ってきました。現在もいろいろな試行錯誤をしています。今までの取り組みを省みて、現在の取り組みを検証し、私たちのこれからの想いを馳せたい考えます。

私たちの取り組みは、歯科医療の未来を変え、人々の未来を変えると信じます。今日の演が、皆さんといっしょに明るい未来への想いを共有する時間になればと考えます。

< 齊藤直之先生講演感想 >

- ・ 齊藤先生の素晴らしさ、お人柄に感動しました。
患者さんの歯を残すために院長を教育して頑張る勇気が出ました。
ありがとうございます。
- ・ 「考えることが大事！！」ととても心に残りました。
MTMは実施していますが、システムの流れに任せて考えていなかった点がありましたので、今後は患者のこと、症例のこと、医院がプラスになるように常に考えるようになりたいです。
- ・ 齊藤歯科医院の細部にわたる取り組みは素晴らしいです。
院内もすっきりきれいにされていて、5Sの徹底ぶり。
私もこのような医院があれば通いたくなると思います。
誰から見ても整理、整頓の行き届いた院内を目指して取り組みたい
と思いました。

<齊藤直之先生講演感想>

- ・ 3つの大きなミッションを決め、それに向けてさまざまなことに取り組む姿勢が素晴らしいと思いました。
決してスタッフのみ、DHのみでは出来ないことだと思います。
医院全員で同じ目標に向かって取り組むことは、大切だと思いました。
- ・ 毎回、佐藤Drの名言に感動します。しかし、今回は齊藤Drがいきいきと本当に楽しそうに話をされている感じがしました。
自分の出来ること楽しいことをまずは考えていきたいと思っています。
すぐに出来る具体的な内容が多かったので、まず、まねをしてみます。
- ・ コンセプトブックは素晴らしいと思います。
その患者にとって都合のいい歯科医院ではなくて、本当に予防が大切だと実感してもらえ患者さんがたくさん集まってほしいと思います。一つ一つ自分の出来ることから始めます。

<齊藤直之先生講演感想>

- ・ハード、ソフト両方の面で素晴らしい診療室であると改めて感じました。当院の今後を考えるうえで、たくさんのヒントを与えて頂いたと思います。有難うございました。
- ・MTMをただやっているのではなく、それを使って考えて結果に結びつけていくのが大切で、そのためには基本を忠実に守り続けなければいけないというのを再認識しました。
齊藤先生の医院のDHでも、過去、やった事に満足し資料として生かせない事が多々あったとの話がありましたが、現在はこの様に高いレベルに成長されており、私も他のスタッフも手を抜かず、基本を守り資料を生かした診療を進めていきたいです。
- ・齊藤先生のおっしゃる通り、悪いところよりも良いところを教え満足度の高い人とより関係を深めていくという考えは、今まで自分が考えもしないことだったので、自分のことについても、患者さんとの関係についても、今後の参考にしたいと思います。

< 齊藤直之先生講演感想 >

- ・ 最近、他の講演などから「患者さんのために」ということについて意見を求められる機会があり、とても悩んでいました。私は歯科衛生士ではないので、患者さんの口腔内に対して直接何かをすることは出来ないと思っていました。でも、齊藤先生のお話の中で「電話を取ることも歯を残すために」という言葉を聞いて、私も直接ではないけれども、患者さんの歯を残すために働いていることに気付くことが出来ました。明日からも患者さんのために働きたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 医院のコンセプトブックを作ったりとすぎなと思いました。うちの医院でも口では説明していても、患者さんは頭にのこりにくいので、伝えたいことは紙に書いて渡すことなどしていきたいです。あと症例は少しずつでも客観的に見れるようにPCに作ったりしていきたいと思いました。

<齊藤直之先生講演感想>

- ・ 哲学、目標など再認識しました。
スタッフみんなと一つのミッションをやり遂げるために、頑張っていこうと思います。
- ・ 患者さんに楽しく学んでもらうという事がまだまだ難しく、日々考察していますがあまり媒体が活用できていないという事と、MTMに対する理解度がいたらないことが多いと感じました。
- ・ 本日は齊藤先生の講演でしたが、DHの症例作成や医院の5S、ISOへの取り組みなど、スタッフの意欲と積極性を感じました。
スタッフ全員が同じ目的に向かっているのが良く分かりました。
当院でも参考にしたいと思います。
- ・ 自分は仮のエンドポイントにばかり気をとられてしまうので、先生の話聞いて、真のエンドポイントを見つめていくこと、チームの一員としてすべき事を考え直しました。

< 齊藤直之先生講演感想 >

- ・ 患者さんの歯を残す、健康な生活を守るためにそれぞれの立場で物事を考えることの大切さを学びました。
長い目で患者さんを見ていきたいと思います。
- ・ 先生の話はとても勉強になりました。
素晴らしい考えだと思ったので、時間はかかっても参考にしていきたいと思います。
- ・ 一つ一つがとても分かりやすく納得いくお話でした。
齊藤先生のお話を今回はたくさん聞くことができ、とても良かったです。前向きに頑張ってみようという力を頂きました。
- ・ 今回ハイジアのセミナーに初めて参加しました。
いろいろお話を聞いて良かったです。

<齊藤直之先生講演感想>

- ・ 患者の口腔内を健康にし、メンテナンスにより維持するという事は、DHの力だけでなく、医院全体が一丸となり行うことの大切さを再確認することが出来ました。
院長、担当Dr、DHのカンファレンスの大切さも学ばせて頂き、とても感謝することが出来ました。
今後、このミーティングにより学んだ事で、私が出来ることを整理し、明日の診療に活かしていこうと思います。
ありがとうございました。
- ・ 毎年変わっていくところがすごいと思いました。
Drとスタッフ統一のための努力をし続けているところはすごいと思った。投資は患者さんのためという言葉が心に残った。
- ・ 齊藤先生の考え方はプラスになる考え方が多く、特に患者さんに向けて作られている本にマイナスになることは書かない聞いたときは確かに患者さんに良い方をするんだという気分のほうが、やる気が出ていいなと思いました。

< 齊藤直之先生講演感想 >

- ・ 結果を出すために取り組みをしていることが、とても参考になりました。私ができることを考え、明日より取り組もうと思います。
- ・ Drとして、改めて医院を振り返って見直しをしてみます。目標の設定など、スタッフ共々勉強しなおして、より力強い医院にしていきたいです。
- ・ 常々、「結果」について考えていました。結果を出すためには各衛生士のスキルもありますが、医院のスタッフが向かう方向性を共有していかなければいけないと感じています。出さなければいけない「結果」の基準が統一されていないので、明日、DrとDHで話し合いたいと思いました。
- ・ いつも齊藤先生の講演は聞きやすく、モチベーションも上がり、勉強になります。患者満足について、今、当院でも話しているので参考になりました。

<齊藤直之先生講演感想>

- ・ 当院では、MTMのシステムを導入し、現在、その流れで診療出来ていると思います。けれど、その中で何かが上手く動いていないように感じていました。今回、問題解決のための気づきを頂けたと思います。とても良かったです。
- ・ イベントを行うにしろ、冊子一つを作るにしろ、良く考えている、違った見方、面白い見方が出来ている診療所だなと思いました。MTMを行う歯科医院としては、日吉の模倣から始まって、やはり自分たちで創造し、作り上げてく必要があるのだなと再認識しました。
- ・ 本来、歯科衛生士としてどうあるべきか、見つめなおすことが出来ました。どのように患者さんと関わり、日々の診療に活かしていくか、よく「考える」習慣をつけて、医院全体で患者さんの歯を残していけるようにしていきたいと思いました。ありがとうございました。

<齊藤直之先生講演感想>

- ・ 齊藤先生のご講演はいつも新しい刺激を与えて下さいます。MTMを新しい商品？として患者に伝えることの発想は、大変素晴らしいと感激しました。ISOの活用の仕方も大変参考になりました。一つ一つの基本的なことの積み重ねが結果を作り、結果を出すことにより、メンテナンス (MTM) が人生必需品になるように努力することが必要であるということなのかと思いました。
- ・ まだまだ考えるべきことは多く、さらに考え抜かなければならないと思いを新たにしました。
- ・ 担当を持って初めて講演を聞き、今後の衛生士としての課題が明確になった様に思います。お話が聞け本当に良かったです。ありがとうございました。
- ・ 症例を作ることは発表のためだけでなく、担当した患者さんを見直すこと、自分の規格性を見直すこと、症例に終わりはない、頑張ろうと思わされました。

<齊藤直之先生講演感想>

- ・ 歯科衛生士さんの意識の高さを感じた。
- ・ 歯の寿命を延ばすという結果をきちんと出すために、医院全体ですべきことを整理できました。
- ・ いつも何気なく行っていたこと（Dental Xrayや口腔内写真撮影）を、基本に戻り規格性を意識しながらやっていこうと思います。患者さまとお話する際には、ポジティブな言葉で説明できるよう心がけようと思います。
- ・ メインテナンスによる効果が結果としてあらわれるのには、患者さんと長期にわたりお付き合いしていくことが大切だということ、そして結果をきちんと出すために私たちが出来ることを、確実に手を抜くことなく行わなければならないと改めて感じました。私も、ぜひ齊藤先生の診療所を見学させて頂きたいと思いました。

<齊藤直之先生講演感想>

- ・「健康」という幅の広い言葉も、「歯を残したいですよね？」と言う方が伝わりやすいというお話はその通りだなと思いました。全員が同じ方向を向いているというのは素晴らしいと思いました。
- ・考えることの大切さを感じました。当院でもカンファレンスをこれからしていこうと思いました。DHの見解を重視し、考えることを怠らないようにしたいです。
- ・結果をだすための、歯を残すための取り組みは大変素晴らしく、いろいろと参考になりありがとうございました。
(PDCA報告書など)
- ・私も患者さんにSRPをしたり、写真を撮ったり、X-Rayを読んだり技術を得るのに必死です。振り返って考えることをしていませんでしたので、考えて狙った患者さんの症例を見ていきたいです。
- ・日々の診療の中にデータをスライド化していると聞き、驚きと真似をしなければと思いました。

< 齊藤直之先生講演感想 >

- ・ 衛生士さんたちが自ら行動してスライドを作っている姿が素晴らしいです。私も帰って一人くらい作ろうと思いました。
- ・ 相手に正しく、分かりやすく伝える大切さを学びました。ありがとうございました。
- ・ 正確なデータを取り、データを良く見て考えることに力を入れて行きたいと思いました。また、自分が今、何を出来るかを考え、医院、患者さんにフィードバックしていきたいです。
- ・ 症例発表のために症例を作るのではなく、常にスライドを作成し検討、問題点を考えるという事はとても素晴らしいことだと思いました。流れ作業になるのではなく、自分自身で検討しやすいように、X-Ray、口腔内写真を規格通りに行う。このお話はとても自分の心に響きました。
明日から早速取り組んでいこうと思いました。

< 齊藤直之先生講演感想 >

- ・ 患者さんの為に前向きな姿勢が感じられました。
データをきちんと取られ、普段の診療がそのままいつでも評価してもらえる医院作りはすばらしいと思いました。

症例発表タイトルと抄録

1 日吉歯科診療所における長期症例にみるMTMの効果」

日吉歯科診療所 太田 久美

日吉歯科診療所は開業30年を迎えました。

当初はチェア一台数4台からのスタートでしたが
現在では22台と大きく成長し、私も勤続27年を迎え
担当患者数は1127名となりました。

その中からメンテナンス経過年数12年と23年の
長期経過症例をご紹介することで、日吉歯科診療所が
提唱するMTMの有効性を示すとともに、
日吉歯科の歩みや、現在のMTMの取り組みについてもご紹介し
ます。

若い歯科衛生士の皆さんにMTMの真の意味と
目標を示すことが出来れば幸いです。

2 一人でも多くの人にカリエスフリーの永久歯列を！

柴田歯科医院 柴田貞彦・高橋典子・松井千花子

日吉歯科診療所のデータによれば、5歳以前から定期的に来院している患者の20歳におけるカリエスフリー率は、歯科疾患実態調査に比べて極めて高い数値となっています。

このことから、低年齢からの定期メンテナンスは、カリエスフリーの永久歯列を完成させる上で非常に有効な手段である考えられます。

今回、当院において定期メンテナンスの効果とその重要性を再認識するとともにカリエスフリーの永久歯列を完成させることの難しさを改めて感じた症例を経験したので報告したいと思います。

また、このようなことを踏まえ、

当院では地域の低年齢児に対し、定期メンテナンスを推進するための地域啓蒙活動を行うとともに、現在小児専門の診療スペースを建設中です。このような取り組みについても合わせて紹介させていただければと思います。

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

3 フルマウスSRPを行なった一症例

岩田有弘歯科医院 吾妻美夕紀

SRPは歯周初期治療の中で原因除去の治療方法として重要な位置を占める。しかしSRPは通常数回に分けて行われ、SRPを終了した部位にまだSRPを行っていない部位から歯周病関連細菌が伝播し、処置した部位が再感染を起こし、疾患の再発を招く危険性が考えられる。アジスロマイシンを術前投与し、細菌数を減少させ、薬剤濃度が維持された状態で全顎のSRPを1回で行った症例によると、1/3顎ずつのSRPとフルマウスSRPを行った後の黒色色素産生グラム陰性桿菌数(BPRS)が、フルマウスSRPでは検出されなかったが、1/3顎ずつのSRPでは術後3ヶ月以内に検出されたという結果がみられた。そこで当院でもアジスロマイシンを術前投与し、フルマウスSRPを行った。患者は中等度歯周炎の57歳の女性。フルマウスSRP終了後一週間程、全ての歯肉に痛みがみられ、患者の身体的負担は大きかったと思われる。しかしBOPは再評価時には6点法で25%から9%に減少し、歯肉の状態も安定していた。そのため鎮痛剤を通常よりも長い期間処方することで痛みへの対応が可能であると思われた。当院ではこれからフルマウスSRPを行った患者の長期的な効果について観察していき、患者に負担をかけずに行うためにはどのようにすればよいか、また、どのような症例に対し有効なのかを検討していく予定である。

また、このようなことを踏まえ、

当院では地域の低年齢児に対し、定期メンテナンスを推進するための地域啓蒙活動を行うとともに、現在小児専門の診療スペースを建設中です。このような取り組みについても合わせて紹介させていただければと思います。

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

4 小児MTMの実践と小学校における歯科予防啓発活動

早乙女歯科医院 柴田未奈

当院は平成18年にオーラルフィジシャン育成セミナーを受講し、メディカルトリートメントモデル(MTM)を導入、平成19年にはISO9001を取得しメンテナンス中心の診療を定着させることを目指してきました。

メンテナンス中心の診療を定着させるためにいろいろな取り組みを行いましたが、患者さんがなかなかメンテナンスに移行しないことが問題となりました。その理由としてそれまでは治療中心の診療システムであったため中高年の患者さんは多いのですが若年層(小児)の患者さんが少ないためであることがわかりました。そこで平成21年4月より小児歯科専任のチームを編成し、同年10月よりメンテナンス専用フロアの増設とともに小児歯科専用フロアを開設いたしました。この時期と並行して、当院が学校歯科医を担当している小学校が日本学校歯科医会の「生活習慣病等の改善を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業」の推進指定校となりました。それまで以上に小学校において歯科予防に関する啓発活動が行える環境となり、色々な協力活動を行いました。その結果、同小学校の児童や保護者、教職員の歯や口腔に関する意識の向上とともに当院の小児患者の増加も得ることができました。

今後はさらに継続して小児歯科チームを中心に小児メンテナンスの患者さんを増やすとともに、診療内容を充実させ、さらに結果の出せる医院を目指さなければならないと考えています。そこで今回は私達がこれまで行ってきた小児MTMの実践と小学校における啓発活動について報告いたします。

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

5 MTM実践初期と現在の患者アプローチの変化について

平井歯科医院 北野靖子

私の歯科衛生士歴は5年ですが、「歯科衛生士業務がしたい！」という思いを持って平井歯科医院に勤務し3年になります。しかし、私が考えていた歯科衛生士業務と、平井歯科医院で求められる歯科衛生士業務には大きな開きがあり、最初は戸惑うことばかりでした。何とか先輩やセミナーなどで学びながら、MTMの流れをこなすことができるようにはなりましたが、初期治療や再評価1・2で中断者が多く、メンテナンスまで移行できないケースがあったり、いつになったら治療が始まるのか？とクレームを受けたりと、MTMが患者利益につながっているという実感がないまま、何をどうすればいいかとストレスを抱えていました。そんな時、医院全体でSATのMTM構築セミナーを受講し、説明はしているが、患者さんを動かせていないとの指摘を受けました。「どう伝えれば人は動くのか？」そのためには「媒体をどのように使うのか？」を知り、それからは患者さんを動かせていると実感でき、仕事が楽しくなりました。そんな私のMTM実践初期と現在の患者アプローチの違いについてご紹介させていただきます。

6 2年目歯科衛生士の視点：担当患者を持ち気づいたこと

わかみ歯科クリニック 畠山友香

私は卒後2年目の歯科衛生士です。

この春から患者さんを少しずつ担当させていただいています。

まだ、右も左もわからない状態ですが、担当した患者さんから学ぶことがたくさんあります。また、中山先生のセミナーを受け目からウロコでした。

私の、今感じていること、悩んでいることについて、先輩方のアドバイスをいただければと思います。

7 MTMを取り入れた健康を守り育てる矯正歯科診療所作り

伊藤矯正歯科クリニック 諸 靖子

多くの日本人が、歯科医院は歯を削って治すところ、という認識を持っています。矯正歯科医院に至っても、ただ歯を並べるところという意識で来院する方が多数います。実は、私もそう思っていた一人です。う蝕を予防できないのは歯磨きが上手くないから、歯周病で歯が抜けるのは年をとったら仕方がないこと、矯正装置が外れてしまえば矯正歯科との関わりは終わり、などと...

でも、MTMの事項を一つひとつ確実に行うことで、患者さんの歯科医院に対する思いや姿勢が少しずつ、ある時には劇的に変化するのを、日々の診療の中で感じてきました。同時に私自身も、衛生士として変わったように思います。

矯正治療前、動的治療中、保定メインテナンスまでの経過をデータで追い、MTMが矯正歯科においてもいかに重要であるか、健康を守り育てる矯正歯科診療室作りに必要であるかをお話したいと思います。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ メインテナンスの患者さんが増えている歯科医院の取り組みがとても素晴らしく勉強になりました。
出来ることから始めたいと思いました。
- ・ MTMの取り組み、データの分析をうまく発表してあって、大変見やすかったです。とても刺激になるところもたくさんありました。
- ・ 予防に目を向けた時、低年齢児へのアプローチが重要であることを各医院の発表から考えさせられました。カリエスのない子供たちに医院に通ってもらうには、その働きかけが必要であること。
育児サークルや小学校、保育園へ出向いての活動を何か行わなければと感じました。
- ・ さまざまな医院の症例を聞くことが出来て良かったです。その中でも長期症例は素晴らしいものでした。初診からメインテナンスまで長く通ってもらうには、担当DHだけの力ではなく治療中でもモチベーションが低下しないようにしていくことが大切だと思いました。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ データを取り分析し、それを患者さんに提供できる医院がある。その医院の強みになると思います。
- ・ 各医院がすごく悩みながら、毎日頑張っている様子が分かり、とても良い刺激になりました。ただMTMにのってやっているだけではだめであり、本当に患者さんのためになるメンテナンスをしていきたいと思いました。
- ・ 早乙女歯科の小児に関する発表は、当院におけるU-20を進めていくうえで参考になりました。伊藤歯科の口腔育成の取り組みは、今後の当院の目標となりました。
- ・ 特に小児歯科での取り組みが興味深かったです。啓発活動をして、どう変わったのかというデータが提示されていたので、とてもわかり易かったです。熊谷先生も啓発活動ではしっかりとデータを蓄積し、そのデータを提示することが重要と以前おっしゃっていたので資料、データを活用していきます。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ 歯科衛生士さんの取り組みが良くわかり、患者さんのためにどの医院も工夫し努力されていると思いました。
- ・ それぞれの医院で皆さんが頑張っていて、悩みながらやっているのを見ると、失敗を恐れずにいろいろ自分なりに考えながら日々診療していきたいです。
- ・ 他院の状況、データなどを見て、抱えている問題、今後の取り組みなどにすごく役にたつと思った。
今後もデータを正確に取り、未来につなげていきたいです。
- ・ 今まで、小児に対する唾液量等、漠然とした説明をしてしまっているため、患者さんの生活習慣になかなか変化が見られていませんでした。今回の講演を聞き、一人一人の患者さんを良く見て、お話していけたらと思います。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ 長期症例の経過を見ることが出来、貴重な経験をさせて頂きました。確実なメンテの積み重ねが、このように表れてくるとDH業務もとてもやりがいがあると実感させられます。MTM以外の定期検診的なメンから転院し、MTMの医院で一年、まだまだこれからであると感じました。
- ・ どの医院もデータを詳しく取り、それを把握し、患者さんのために務めていることを見て取れました。刺激になりました。
- ・ いろんな症例が聞いて面白かったです。とても興味深い症例がたくさんあり、また明日から頑張ろうと思いました。自分でも勉強するよい機会になりました。
- ・ とても参考になる話ばかりで、今日参加できたことを嬉しく思います。ありがとうございました。
- ・ データを分析することでの、今後の活動の方向性が明確になると思いました。日々一つ一つの積み重ねの必要性を理解しました。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ 様々な症例を見ることが出来て良かった。まだまだMTMの理解を勉強中なのでMTMの話を聞けて良かったです。
- ・ 全てにおいてとても素晴らしい発表で、勉強になるところがとても多くありました。特に平井歯科の発表では、MTMが成立しているのに、スタッフの考え方や力量が伴っていないという現実には、私たち歯科医院も同じだと思いました。初心に戻って考える必要があると思いました。
- ・ いろんな形で活躍している姿がとても素晴らしいと思った。歩みを止めず、出来るところから少しずつでも結果を出すように頑張っていて、励みになった。伊藤先生の話は基本からもう一度聞きたいと思った。
- ・ どの症例でもカリオグラムを使って、カリエスリスクが目で見てもわかりやすく感じました。さらにそれに伴って再評価が良くなっているのが分かったので、明日から良くなった例を試していきたいと思いました。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ 各医院、MTMの確立、予防の取り組みを積極的に行っていて、再度当院で見直さなければいけない点、課題点を気づかされました。
- ・ 各医院の努力を見て、当院スタッフが壇上にあがれる様、新たな目標として一から（資料整理など）始めます。
- ・ 当院でも小児の患者教育について、“患者さんを育てる”という活動や啓発が弱いので、今後、力を入れていかなければいけないと感じました。幸いなことに、保育園に検診に行っているので、それをチャンスにしていければと思いました。
- ・ 小児の発表は、これから当院でも大きな課題だったので、勉強になり考えさせられました。
- ・ 各医院の発表、質疑応答の中で、データを集めること、分析することの重要性、MTMを基本に沿って診療し、その一つ一つの質を高めることの大切さが再認識できました。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ 単にMTMにのせればいいというのではなく、一人一人の患者さんを見ながら対応していくというのが印象に残りました。
- ・ 一番に患者利益を考えて行動すること、症例発表の仕方など、大変勉強になりました。改めて自分の今いる環境で何が出来るかを考えることが出来ました。特に同じ問題を抱える医院さんの発表は参考になるお話がたくさんあり、小児に対して等、明日から実践していきたいと思います。
- ・ 各医院の症例発表も参考になるところがたくさんありましたが、本日のミーティングに出席し、最も有意義だったのは当院の発表に対するご意見やアドバイスをいただいたことです。発表した本人はもちろんですが、本日頂いたアドバイスは医院全体のステップアップにつながるものと思います。誠にありがとうございました。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・参加がオーラルフィジシャン歯科医院からという事もあり、それぞれ明日から参考出来る発表が多く、ためになりました。
- ・各医院さんの発表、他、今後こうしたほうが良いという色々なお話が聞け、とても勉強になりました。
- ・20年以上の担当をされるのは、とてもすごいなと思いました。
- ・MTMの重要性が伝わる症例が多く、参考になりました。
- ・素晴らしい発表ばかりで、明日から医院での取り組みの中で参考に頂きたいと思いました。
- ・忙しい診療の中で、資料整理するのも大変だと思うのに、皆さん頑張っているなあと感心しました。齊藤先生のように、その都度まとめられればいいのですが、なかなかそんな時間が取れないのが悩みです。
- ・各医院の症例からデータの大切さをつくづく感じた。MTMを取り入れている医院に入社したばかりで、まだ知識がないのでまず知識を得るところから学びたい。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ただMTMの流れをこなして行くことは、真の患者利益を提供出来ている事ではない。私自身、最近とても感じている事です。リスクコントロールをしながらメンテナンスを行い、健康な口腔内を維持することこそが重要である。この基本的な事を忘れてはならないと皆さんの症例を見て、皆さんのアドバイスを聞き感じました。私もこれから患者さんとお付き合いしていく中で、その患者さんに合ったリスクコントロールの方法を提供しながら、担当していこうと思いました。
- ・様々な年齢の皆さんの発表があり、自分自身のやってきたことは、これで良かったのか？、もっとこうしなければ！と思うことが多々ありました。でも、明日からまた頑張ろうとやる気が出ました。ありがとうございました。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ 他院の発表を聞いていて、同じような悩みや参考になることが、たくさんありました。明日からの診療に役立てたいです。私も将来は長期症例を持てるように、今から出来ることをコツコツと積み上げていきたいです。
- ・ 各医院の頑張っているDHの発表を聞いて元気が出ました。皆さんのこれからの期待です。
- ・ OHI、サリバをし、そのデータをどう患者さんに活かすかと考えて行きたいです。
- ・ 各医院の取り組みがよく理解できる発表ばかりでした。
- ・ 一生懸命な取り組みが多く、どれも頑張っているという印象を持ちました。私の医院は割とできていますが、もっと、質を高めていくよう努力したいです。
- ・ どの発表も大変興味深く、勉強させて頂きました。今後の仕事に活かし、研鑽を積んでいきたいと思えます。

<症例発表についての感想・意見> (症例発表)

- ・ 各医院と比べると、当医院のあいまいな規格性やサリバテストを行う時期が目につきました。もう一度、院長、スタッフと話す場を設け、規格性の見直しや基準変更が出来ればと思いました。
- ・ どの医院さんの発表も、当院の今後のヒントになることがたくさんあり、今すぐにでもミーティングをしたいという気持ちになりました。まずは基準（目標とする）を決めるということの大切さを実感しました。患者教育についても一緒に考え、楽しく来院できるようなシステムを考えたいと思いました。
- ・ それぞれ学ぶところが多く、ありがとうございました。

<ミーティング感想・ハイジア活動への要望など>

- ・大変有意義な2日間でした。
- ・今日一日でたくさんの貴重な話を聞くことが出来て良かったです。当院でもメンテナンス数を増やすことを目標に、あらゆる取り組みをしていますが、今、自分がスタッフの一員として何が出来るか考えさせられました。
- ・外観にとらわれすぎていたように思います。自分が出来る事、今出来る事を考え、肉体労働のDHではなく、知的なDHで楽しく、いきいきと仕事が出来るとなりたいです。
- ・また東京でミーティングを行って欲しい。
- ・今回もとても充実した2日間を送れました。同じ考えの仲間が集まって、それぞれの今の状況を話し合う場があることは、本当に勉強になるし、悩んでいるのは自分だけではないんだと、また、やる気が出てきます。またハイジアのセミナーには出来るだけ多く参加したいです。

<ミーティング感想・ハイジア活動への要望など>

- ・ 他院の発表は参考になり、刺激にもなりました。毎年ハイジアのミーティングに参加することで、自院を見直すいい機会になっています。有り難うございます。今後も宜しくお願いします。
- ・ 昨年も参加しましたが、参加することで自分のモチベーションが上がり、今後の患者さんへの伝え方にも熱意を持って話せます。この状態を維持し続け、また来年参加したいと思います。
- ・ 今後の衛生士としてどうあるべきか。何を目指すのか。今日も考えさせられるミーティングでした。他院の衛生士や日吉歯科など自分が目標としていることと同じ目標を持つ方々のお話を聴くことができ、今後のエネルギーになりました。
- ・ 日々の診療における他院の取り組みを知る事が出来、私も明日から新たな気持ちで診療に取り組もうと思います。ハイジアには、まだ入会したばかりなので、これからの活動に期待しています。

<ミーティング感想・ハイジア活動への要望など>

- ・ 来年も東京でセミナーをやって欲しい。
- ・ 矯正のことも初めて知る事がたくさんあり、勉強になりました。今後をもっともっと多くの医院の症例や、講演をお願いします。
- ・ 更に意見交換を出来る場を増やして頂けたら、とても助かります。また、実際にシャープニング等の実習をして頂けると技術、知識共に向上していけると思うので宜しくをお願いします。
- ・ 同じMTMを導入し、離れていてもデータを比較することが出来るのはとても意味のある事です。定期的な開催をされるということですので、また次回も参加したいと思います。
ありがとうございました。
- ・ 今回は長期メンテについて太田さんからお話頂きました。ためになりました。次回は、新人の方から見た日吉歯科のメンテ等について聞いてみたいです。ありがとうございました。

<ミーティング感想・ハイジア活動への要望など>

- ・初めて参加しましたが、MTMを通じていろいろな話が聞けて良かったです。とても刺激になりました。
- ・色々な症例、意見等聞くことが出来とても充実した時間でした。確実に医院に活かしていきたいです。
- ・新人歯科衛生士のためのMTMのあり方やスキルアップ講座を受けたいです。
- ・成人、小児、矯正のMTMを各部に分けて症例発表の機会があれば、もっと各部の成長の種となると思います。
徳本さんが一人で動いていたので、スタッフがもう少し多い方が良いのでは？と思いました。
- ・歯科衛生士会など、他のグループへの活動。患者さんたちが正しいことを判断する材料の提示。読んでおく必要のあるレビューの紹介。

<ミーティング感想・ハイジア活動への要望など>

- ・ 発表を聞いて、いかに自分になまけているかが良く分かった気がします。ただ、毎日バタバタと患者さんをさばっていくのではなく、その人がどうして今の上程になったか、その原因を理解したうえで、その人に合った診療をしていくことが大事だと分かった気がしました。でも、いきなりすべてを理解できるわけではないので、患者さんが普段どんな生活をしていたのか、そこから聞いていきたいと思います。
- ・ 私自身へのモチベーションのアップになりました。時間が経つとどうしても下がってしまいますが、目標設定し、自院でもミーティングを行いたいと思います。ありがとうございました。また東京での開催をお願いします。
- ・ 徳本さんはじめ、先生方、DHの皆様にお礼申し上げます。
- ・ 他院のしてきている事を聞くのは、とても刺激になりました。来年も参加したいと思います。

<ミーティング感想・ハイジア活動への要望など>

- ・ 齊藤先生の話が一番心に響きました。この気持ちを医院に持ち帰り、話し合いたいと思います。各医院の強みや弱み、個々のスタッフの意識と今後の方向性を見直す必要があると思いました。小児の患者さんを育てるためにも、新卒のDHのやる気を育てられるようなセミナーがあるといいなと思います。
“鉄は熱いうちに打て”ですね。
- ・ 今回4度目の参加ですが、1年に1度HAMに参加することで毎年違った気づきを与えて頂いていると思いました。今回の参加で気がついたことを、より深く考えることが大切だと思いましたので明日から頭を抱えてよく考えたいです。
- ・ 医院の今の悩みを他院と分かち合えたので良い機会となった。Drとしても学ぶところは多かったので、また参加したいと思います。次回も可能であれば東京でお願いします。

<ミーティング感想・ハイジア活動への要望など>

- ・ 日頃の診療、自分たちの中だけでは気付けなかった事に気付けるチャンスを受けて良かったと思えました。参加したり、発表したりすることで多くの事を得ることが出来たと思います。今後も、実際に今回のような、診療に結び付けられるような機会を設けていただければと思います。東京だったので来やすかったです。ありがとうございました。
- ・ オーラルフィジシヤンの使命を達成していくため、歯科衛生士さんの力が是非必要なので、今後ともよろしくお願い致します。
- ・ とても素晴らしいミーティングだったと思います。参加された皆様のご意見、励ましにより当院のチーフDHも非常にモチベーションが高まったようです。本当にありがとうございました。
- ・ 「病気に目を向ける」のではなく、「もっと健康でいられるように」歯科医院を利用して頂けるようにとは考えていますが、患者さまには確実に伝えきれてはいないだろうと改めて感じました。

<ミーティング感想・ハイジア活動への要望など>

- ・ 症例発表会をもっと頻繁に行って欲しいです。
- ・ 多くのDHが育ってきていることを感じ、OP診療所としてもっと、頑張らなければいけないと思いました。
- ・ 貴重な機会を与えて頂きありがとうございました。
- ・ 今後、担当している患者さん、担当になる患者さんを長期メンテナンスしていくために、「本当の健康な歯」とはどのようなものなのかを伝えたい。自分の力量アップのためにも、今の症例を増やしたり、患者さんごとにスライドにまとめ、自分の考え方を明確にしたいと思います。
- ・ カリオロジーについて、いろいろな医院さんの取り組みについて知りたい。情報交換をしたいと思いました。（サリバテスト、カリオグラムについてなど） ハイジアの活動への参加は今回が初めてでしたが、今後も一緒に学んでいけたらと思います。HAMを開催して頂きありがとうございました。

Hygeia Annual Meeting 2010を終えて

齊藤先生から、セミナー修了後、徳本あてに頂いたメールです。
齊藤先生の許可を得て掲載させていただくことにしました。

皆さんの熱気あふれる発表、本音で話せる懇親会と 本当に充実したセミナーだったと思います。ありがとうございました。

先週の水曜日にISOの更新審査があったのですが、セミナーの中でもお話ししたように 特別な準備をせずに普段通り受けました。スタッフは、自信を持って質問を受けたり、説明をしたりして自分たちの気づかなかったことをアドバイスを受けてたり 認めてもらったりしたとても充実の一日でした。

月曜日に報告が私のところに上がり、昨日のミーティングで マネージメントレビューが出て、来年に向けた活動が始動しています。普段通りだからこそ、審査が終わったことが、終わりではなく 始まりだと実感することができています。症例もデータも同様のことがいえるのではないかと考えています。日曜日のミーティングが、次の目標の始まり、 データを集計して分析し考えることが次への始まり、 と思えるようになることが重要だと感じました。普段取りに改善を行い症例を見直し、質を上げ、新しい技術や知識を 追加しながら毎日やっていく中で、HAMがあり、その発表を通して自分たちの新しい気づきを得て、次の目標の始まりになり 翌日から一つステップアップした日々の臨床が始まる。Oral Physician 歯科衛生士部会 Hygeia(ハイジア)

Hygeia Annual Meeting 2010を終えて

普段通りに改善を行い症例を見直し、質を上げ、新しい技術や知識を追加しながら毎日やっていく中で、HAMがあり、その発表を通して自分たちの新しい気づきを得て、次の目標の始まりになり翌日から一つステップアップした日々の臨床が始まる。

発表することが特別のことではなく、普段の臨床の流れの中にある。データも常に集計分析がルーティーンに行われ、その結果をスタッフ全員が共有し、それぞれの役割において、どのようにすれば目標に近づけるかをそれぞれが自分で考えて活動していく。データをまとめあげることに意義があるのではなく、その結果を見て考え、どのように生かすかを考える。常にそれが行われる。そんな診療室をみんなで作っていければ、目標に向かって前進を続けることができる。いまなら、少しずつそのようなシステムや体制が作れそうだと実感できます。HAMのミーティングの発表の準備をしたり、前日の懇親会や皆さんの発表を聴きながらそんなことを考えていました。「絶え間なく前進を続けるチーム」それが「結果を出せる診療室」ではないかと今回の発表を通して確認することができました。今回の機会は、私にとってとても大きな収穫があったと思います。本当にありがとうございました。

齊藤 直之

Hygeia Annual Meeting 2010を終えて

症例検討会として5回目となる今回は、「Hygeia症例検討会」を「Hygeia Annual Meeting」（通称HAM）と改め、昨年のアンケートの意見を取り入れて、東京での開催としました。

また、今後のHygeiaに対する会員の意見交換、会員同士の日々の問題への意見交換の場として「座談会」を新たに企画しました。参加者の皆さんから好評をいただき、今後も継続していきたいと考えております。

症例発表では、回を重ねるごとに、発表内容が多様になり、新人の発表から長期症例、また、小児部署の立ち上げ、矯正歯科の取り組みとバラエティーに富、互いに学びあえる充実したセミナーが開催できた感じています。

斉藤直之先生の講演は、先輩Oral Physicianとして示唆に富み、心に残る言葉をいくつもいただき、明日から頑張ろうと、元気をいただけるものでした。

今回、症例発表頂いた各医院の方々、また、熱心な質疑応答をいただいた参加者の方々のご協力のもと、Hygeia Annual Meeting 2010を無事開催することが出来ました。ご協力くださった皆さんありがとうございました。

来年東京でまたお会いしましょう！！

徳本 美佐子

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)